

## 令和5年度「農畜産物流通研修会」開催要領

### 1 目的

近年の農畜産物を取り巻く環境は、消費者の嗜好や販売方法の多様化に加え、物価高騰や物流における2024年問題など様々な変化に直面している。

そこで、これらの変化に対応した消費者、実需者側から見た「売れるものづくり」等について学び、マーケットインの発想に基づいた県産農畜産物の産地づくり、販売力強化を図るとともに、2024年問題の課題解決のための研修会を開催する。

併せて、今年度はかごしまブランド確立運動35年目に当たり、産地の取組事例を紹介し、今後のブランド産地の振興を図る。

### 2 日時

令和5年11月17日（金） 午後1時30分～午後4時

### 3 場所

鹿児島県市町村自治会館401会議室

（Webexによるオンライン配信のハイブリッド開催）

### 4 内容

- (1) 「鹿児島県産農畜産物のブランディングについて」（50分）  
有限会社永瀬事務所バイヤーズガイド編集発行人 永瀬正彦 氏
- (2) 「総合物流施策大綱の概要及び国の取組について（仮題）」（30分）  
農林水産省大臣官房新事業・食品産業部食品流通課卸売市場室  
室長 戎井靖貴 氏
- (3) 「2024年問題への対応について（仮題）」（20分）  
株式会社 JA物流かごしま幹線事業部  
幹線事業部長兼園芸農産課長 早稲田一剣 氏
- (4) 「東串良のピーマン」30年のあゆみと今後の振興方策」（20分）  
JA鹿児島きもつき東串良支所園芸農産課 主任 今村隆史 氏
- (5) 「京浜市場等での本県農畜産物の評価と販売の現状について」（20分）  
県東京事務所流通情報課 課長 前原隆史 氏

### 5 参集者

かごしまブランド認定団体、GAP取得団体、農業生産法人、  
鹿児島県農業経営者クラブ、GFP登録事業者、卸売市場関係者、  
流通関係事業者、農業協同組合、市町村、県等